

# ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年7月18日  
六郷児童館 「うちわをつくらう」

雷が鳴り、大雨洪水警報が出ているなか、集まってくださったお母さんと子どもたち。人数は少なめでしたが、ゆとりをもって活動ができた「うちわづくり」でした。

いつも通り、なにを描いても、なにを貼付けても大丈夫な、ARTS for HOPE のワークショップ。“もう心得ていますよ”といった感じで、親子で材料を揃えてゆきます。今回人気だったのは、コラージュの手法。シールの折り紙や、丸シールを組み合わせたものもたくさんあったのですが、アールブリュット系の作品のパンフレットを切り抜いてうちわをつかったお母さんの出来は、お洒落な雑貨屋さんにも飾ってあってもおかしくないような素敵な作品となりました。

アールブリュットの作家さんが描いた、飛行機、電車の切り抜きは、男の子に絶大な人気を誇り、分けっこするのも大人な交渉術がかわされます。「こっちは飛んでる飛行機で、こっちは走っている飛行機なの」そんな、子どもたちの言葉にも微笑みがこぼれてしまいます。アフリカンな色合いのうちわを仕上げたお母さんと男の子。その上には貝殻などもくっついて、扇ぐと熱風がゆらめきそうなアートな作品となりました。うさぎの耳がついたうちわにマジックペンで描かれたたくさんのグルグルは、彼女の、彼女のためのうさぎさんなのでしょうね。

その他にも、フェルトでモンスターインクのキャラクターを見事に作り上げたお母さん。ひと、牛、うさぎなどの連続の切り絵を折り紙でささっと紙切り師のように作って貼っていたお母さんもいました。

